

1	<b>MORIAGE (Morinomiya Active Age) Project:もりあげプロジェクト：大阪府城東区森之宮地域の高齢者向け「ちょこっと運動&amp;スマホ教室」</b>
連携先	UR西日本,森之宮団地自治会
活動期間	2023年1月から継続中
実績・報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 森之宮UR団地居住者に対しコロナ禍での身体活動量についての調査を行い、腰痛や孤独感など体力や気力が著しく低下している可能性を確認したことを受けて実施しています。</li> <li>・ 実施は、大学院生（理学療法士有資格者）中心</li> <li>・ 23年1月から毎週土曜、1クール10回の教室に、30～40名ずつの高齢者が参加</li> <li>・ 毎回20分程度の「ちょこっと」運動と、20分程度のスマホの使い方教室を行なっています。楽しく動ける身体づくりと、SNSを通じて交友を広げ、楽しく活動的な毎日を送っていただけるようお手伝いしています。</li> </ul>
Webサイト	<a href="https://www.omu.ac.jp/reha/higu-lab/">https://www.omu.ac.jp/reha/higu-lab/</a>
写真・チラシ等	
SDGsへの取り組み	 

2	<b>大阪市北ブロック研修会 講師</b>
連携先	一般社団法人 大阪府作業療法士会
活動期間	2022年度
実績・報告	<p>「脳内ネットワークを踏まえて考える、脳損傷者における高次脳機能の評価と解釈」と題し、主に若手の作業療法士に対して、臨床で難渋する高次脳機能障害の評価と解釈について講義を行った。職能団体が行う研修事業であるため参加費は無料であり、大阪府にとどまらず全国からオンラインでの参加があった。</p> <p>実施日：11月17日</p>
Webサイト	
写真・チラシ等	
SDGsへの取り組み	 

3	<b>事業部研修会 講師</b>
連携先	一般社団法人 奈良県作業療法士会
活動期間	2022年度
実績・報告	<p>上記の「脳内ネットワークを踏まえて考える、脳損傷者における高次脳機能の評価と解釈」についての講義を拡大し、主に奈良県の若手作業療法士に対して、小規模ながらグループワークを踏まえた実践的研修を行った。職能団体が行う研修事業であるため参加費は無料であり、臨床現場で働く作業療法士の知識のアップデートの機会となった。</p> <p>実施日：2月26日</p>
Webサイト	<a href="https://www.naraot.jp/nblog/?p=4530">https://www.naraot.jp/nblog/?p=4530</a>
写真・チラシ等	
SDGsへの取り組み	 

4	<b>スマホ教室 &amp; 健康測定会（作業療法学専攻）</b>
連携先	UR都市機構, 社会福祉法人 松輪会 城東区城陽地域包括支援センター, ソフトバンク社
活動期間	2022年度～継続中
実績・報告	医学部リハビリテーション学科 作業療法専攻の学生らが作業療法専攻の教員らと共に森之宮第二団地集会所でUR都市機構、社会福祉法人 松輪会 城東区城陽地域包括支援センター、ソフトバンク社様とともに「健康測定 & スマホ教室」を共同開催しました。スマホ教室では、学生が行った個別相談方式でのスマホ教室では個人のニーズに寄り添う形で、マンツーマンで実施されました。健康測定では、学生たちが握力、歩行速度、認知機能、日常生活の状況を聞き取りし、教員が測定結果と健康のアドバイスを行いました。
Webサイト	
写真・チラシ等	
SDG s への取り組み	 

5	<b>オンライン実習の有用性検討（作業療法学専攻）</b>
連携先	
活動期間	2020年度～継続中
実績・報告	コロナ禍において臨床実習に多大な影響があり、学生を対象にオンラインによる作業療法場面の見学実習を経験していただいた。オンライン実習の有用性を検討しました。協力施設は近畿圏内の病院、デイケア内での作業療法場面、神経認知・社会認知トレーニング場面に参加した。今回のリハビリテーション学研究科の取り組みにおいて満足度は高く、その理由としては学内授業にない『当事者とのリアルタイムでの相互交流』、『臨床実習と同等の作業療法場面』を体験できた。
Webサイト	
写真・チラシ等	
SDG s への取り組み	 

6	<b>UR都市機構森之宮第2団地におけるモデルルーム改修プロジェクト</b>
連携先	大阪市城東区役所, 社会医療法人大道会, UR都市機構
活動期間	2020年度～継続中
実績・報告	スマートエイジング・シティの実現に向けた取り組みの1つとして、UR都市機構森之宮第2団地において、「健康・医療・介護」を体験できるモデルルームの改修プロジェクトを進めました。住民が住み慣れた地域で安心して快適に住み続けられ、かつ多様な世代の新たな住民を惹きつける、超高齢社会の活気あるまちのモデル実現に向けて活動を行いました。2022年度は、モデルルームのオープンに向け各所が連携し活動を行い、2022年12月26日に一般公開しました。
Webサイト	<a href="https://www.ur-net.go.jp/chintai/college/202301/001001.html">https://www.ur-net.go.jp/chintai/college/202301/001001.html</a>
写真・チラシ等	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=XeYsMnWIBR0">https://www.youtube.com/watch?v=XeYsMnWIBR0</a>
SDG s への取り組み	  

7	<b>地域医療（通所リハや訪問リハ）を体験できる教育プログラムの提供</b>
連携先	通所リハ実習：4施設,訪問リハ実習：23施設
活動期間	通所リハ実習が2022年度より開始～継続中
実績・報告	高齢者が重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最期まで送ることができるよう、地域包括ケアシステムの構築が推進されています。5つの構成要素「医療」「介護」「住まい」「介護予防」「生活支援」の実践の場である、「通所リハ」と「訪問リハ」の現場を見学させていただくことで、地域包括ケアシステムにおける各所の役割を説明でき、地域における理学療法士の専門性と役割が説明できることを目標にしています。
Webサイト	
写真・チラシ等	
SDG s への取り組み	 

8	<b>都市防災研究（障がい者の避難）</b>
連携先	住吉区自治会,その他自治会等
活動期間	2021年度～継続中
実績・報告	災害発生時の障がい者の避難方法について現状をヒアリングし、自治会住民側から見た疑問点・問題点の確認や客観的に見た具体的方策を検討した。現状として避難訓練等の参加者の実状や、障がい者への一般的な対応の困難さなどの解決方法を参加者と検討してきた。地域により住民の年齢層や自治会の活動状況により対応が異なることなどを東日本大震災や熊本地震から知見を得て情報を共有していく。
Webサイト	
写真・チラシ等	
SDG s への取り組み	  

9	<b>いけだ健康フェスタ</b>
連携先	大阪府池田市,阪急阪神ホールディングス(株),(株)いきいきライフ阪急阪神
活動期間	2021年度～継続中
実績・報告	ご自身の健康について、『気づいて』『学んで』いただくことを目的とした「いけだ健康フェスタ」が6月25日に池田市役所で開催されました。対象は、池田市在住の高齢者で、我々のブースでは、『気づき』として、歩行機能や膝関節・足関節の筋力、立位姿勢など身体機能の測定を行いました。当日は139名の方にご参加いただくことができました。
Webサイト	<a href="https://www.facebook.com/physical.therapy.omu/posts/pfbid02GzZv7RJKmpDFcpHVQIDR5HKA245BTaEBg2ZWUuYGXnPwWMeFM1epCGTv4ScYg2mml">https://www.facebook.com/physical.therapy.omu/posts/pfbid02GzZv7RJKmpDFcpHVQIDR5HKA245BTaEBg2ZWUuYGXnPwWMeFM1epCGTv4ScYg2mml</a>
写真・チラシ等	
SDG s への取り組み	

10	<b>理学療法評価学総合実習における地域高齢者の理学療法評価</b>
連携先	羽曳野市社会福祉協議会,羽曳野市立高年生きがいサロン6号館
活動期間	2022年度～
実績・報告	理学療法専攻3年次生を対象とした理学療法評価学総合実習の授業では、学生が理学療法評価技術を修得するため、羽曳野市社会福祉協議会や羽曳野市立高年生きがいサロン6号館での体操教室等に参加している地域の高齢者に模擬患者役としてご協力いただいている。学生の理学療法評価技術向上のための機会になることはもとより、他者とのコミュニケーションの取り方を学ぶ機会にもなり、また、参加していただいている高齢者の方々にとっても自身の運動機能を知ることができる機会にもなっている。 2022年：5名の高齢者が参加
Webサイト	
写真・チラシ等	
SDG s への取り組み	

11	<b>重度障がい者に対する教育研究活動</b>
連携先	一般社団法人日本ボッチャ協会,大阪ボッチャ協会
活動期間	2016年度～継続
実績・報告	本学羽曳野キャンパスの体育館を定期的に開放し、主に府内に在住しているボッチャ選手（脳性麻痺、頸髄損傷などの重度障がい者）を対象に練習会の開催やトレーニングを行なっている。この取り組みの目的は、1）重度障がい者の社会参加のきっかけづくり 2）重度障がい者の身体機能向上や健康意地・増進と運動指導 3）選手の競技パフォーマンスの向上やそれらを目的とした研究活動 4）学生にも参加してもらうことで障がいに対する理解を深める などである。 実施日：毎週水曜・金曜の14時ごろ～18時 or 20時ごろ
Webサイト	
写真・チラシ等	
SDG s への取り組み	

12	<b>全国障害者スポーツ大会堺市代表選手選考委員会委員</b>
連携先	堺市
活動期間	2020年度～継続中
実績・報告	全国障害者スポーツ大会のボッチャ競技における堺市の代表選手選考委員を務めている。毎年堺市が主催の堺市障がい者スポーツ大会が開催され、その大会での成績をもとに代表選手を選考するための委員会の委員として活動をしている。
Webサイト	
写真・チラシ等	
SDG s への取り組み	

13	<b>京都府内の小学校の授業でのポッチャ指導</b>
連携先	木津川市立上粕小学校,井手町立井手小学校,井手町立多賀小学校
活動期間	2017年度～継続中
実績・報告	京都府内にある小学校数校からの依頼で、授業内でポッチャの指導を行っている。これらの小学校はオリンピック・パラリンピック教育推進校となっており、授業内でポッチャなどのパラリンピック競技を通じて、人権学習や障がい理解を促進する取り組みをしており、その一環として年に1回授業内でポッチャ体験会の講師として参加している。
Webサイト	<a href="https://www.kyoto-be.ne.jp/taka-es/cms/?p=445">https://www.kyoto-be.ne.jp/taka-es/cms/?p=445</a> <a href="https://rakutai.jp/2021/12/19/idebocciataiken/">https://rakutai.jp/2021/12/19/idebocciataiken/</a> <a href="http://www.kizu.ed.jp/kamikoma-es/index.php?key=jo1fee92e-149">http://www.kizu.ed.jp/kamikoma-es/index.php?key=jo1fee92e-149</a>
写真・チラシ等	
SDG s への取り組み	

14	<b>堺市教育委員会自立活動アドバイザー</b>
連携先	堺市教育委員会
活動期間	2017年度～継続中
実績・報告	堺市立特別支援学校、幼稚園、小学校、中学校を訪問し、学校教諭や保護者からの相談を受け、助言や協業を行った。
Webサイト	
写真・チラシ等	
SDG s への取り組み	 

15	<b>大阪府立西浦支援学校福祉医療関係人材活用事業特別非常勤講師</b>
連携先	大阪府立西浦支援学校
活動期間	2018年度～継続中
実績・報告	大阪府立西浦支援学校を訪問し、学校教諭からの相談を受け、助言や協業を行った。
Webサイト	
写真・チラシ等	
SDG s への取り組み	 

16	<b>めばえの会への参画</b>
連携先	めばえの会
活動期間	2019年度～継続中
実績・報告	奈良県明日香村にて月に1回程度、発達が気になるお子さんとそのご家族を対象に下記の活動を行った。 2022年5月29日 ピザづくり 2022年6月11日 田植え 2022年8月28日 川遊び&野菜スタンプ 2022年9月11日 きらめ樹 2022年10月23日 稲刈り 2022年11月20日 きら☆たまマルシェ 2023年1月9日 田んぼでたこあげ&お正月あそびイベント 2023年3月19日 しいたけの菌打ち体験
Webサイト	<a href="https://www.facebook.com/mebae.2019/">https://www.facebook.com/mebae.2019/</a>
写真・チラシ等	
SDG s への取り組み	   

17	<b>令和4年度 都島区役所子育て支援室講演会講師</b>
連携先	都島区役所子育て支援室
活動期間	2022年8月31日
実績・報告	大阪市都島区役所子育て支援室が企画し、保護者、支援者などを対象に「発達が気になる子どもの感覚特性を捉えた支援」というテーマで講演を行った。
Webサイト	
写真・チラシ等	
SDG s への取り組み	  

18	<b>大阪市健康局令和4年度栄養士研修会講師</b>
連携先	大阪市健康局
活動期間	2022年10月24日
実績・報告	大阪市健康局の栄養士を対象とし、「発達が気になる子どもの食に関する行動の支援について」というテーマで講演を行った。
Webサイト	
写真・チラシ等	
SDG s への取り組み	 

19	<b>大阪府立支援学校栄養教諭研究会研修会講師</b>
連携先	大阪府立支援学校栄養教諭研究会
活動期間	2023年2月24日
実績・報告	大阪府立支援学校栄養教諭研究会にて、「発達が気になる子どもの食に関する行動の支援について」というテーマで講演を行った。
Webサイト	
写真・チラシ等	
SDG s への取り組み	 

20	<b>大阪府教育庁高等学校支援教育力充実事業医療等専門家チーム構成員</b>
連携先	大阪府教育庁
活動期間	2020年度～継続中
実績・報告	大阪府教育庁高等学校支援教育力充実事業医療等専門家チーム構成員となっている。2022年度は具体的な依頼はなかった。
Webサイト	
写真・チラシ等	
SDG s への取り組み	 

21	<b>羽曳野市教育委員会巡回相談</b>
連携先	羽曳野市教育委員会
活動期間	2020年度～継続中
実績・報告	羽曳野市立幼稚園、こども園を訪問し、保育士、教諭からの相談を受け、助言や協業を行った。
Webサイト	
写真・チラシ等	
SDG s への取り組み	 

22	<b>Zoom を活用した棒体操教室による転倒予防の効果の測定</b>
連携先	松原市社会福祉協議会
活動期間	2021年度から継続中
実績・報告	<p>松原市内4～5か所にて介護予防事業の一環として転倒予防を目的とした棒体操をZoomを利用して行っている。頻度は月1度である。参加者は一回当たり30～40名程度である。大学より体操指導する教員・院生・学生が協力して配信しており、オンラインを通して地域住民とインタラクションを伴った空間となっている。</p> <p>実施日：</p> <p>2022年4月12日  2022年5月10日  2022年6月14日  2022年7月12日  2022年8月9日  2022年9月13日  2022年10月11日  2022年11月8日  2022年12月13日  2023年1月10日  2023年2月14日  2023年3月14日</p>
Webサイト	
写真・チラシ等	
SDG s への取り組み	

23	<b>池田市と連携している研究活動（いけだ健康フェスタ）</b>
連携先	大阪府池田市,阪急阪神ホールディングス(株),(株)いきいきライフ阪急阪神
活動期間	2021年度～継続中
実績・報告	池田市在住の高齢者を対象に、いつまでも健康に暮らすために、ご自身の健康について『気づいて』『学んで』いただくことを目的とした「いけだ健康フェスタ」が6月に開催されました。そこに『気づきの場』として歩行機能や下肢筋力、バランス計測など、身体機能を測定するブースを出展し、約140名の方にご参加いただきました。また、『元気に歩くための体操教室』と題して、介護予防のための講演も実施しました。
Webサイト	<a href="https://www.facebook.com/physical.therapy.omu/posts/pfbid02GzZv7RJKmpDFcpHVQiDR5HKA245BTaEBg2ZWUuYGXnPwWMeFM1epCGTv4ScYg2mml">https://www.facebook.com/physical.therapy.omu/posts/pfbid02GzZv7RJKmpDFcpHVQiDR5HKA245BTaEBg2ZWUuYGXnPwWMeFM1epCGTv4ScYg2mml</a>
写真・チラシ等	
SDG s への取り組み	

24	<b>池田市と連携している研究活動（いつもyobouいけだ）</b>
連携先	大阪府池田市,阪急阪神ホールディングス(株),(株)いきいきライフ阪急阪神
活動期間	2021年度～継続中
実績・報告	9月～12月に介護予防を目的とした運動教室を、池田市在住高齢者の方を対象に対面とオンラインで各6回ずつ実施しました。内容としては、「フレイル」に関する講義や、筋力トレーニング、できるだけ素早く動かす運動などを取り入れたプログラムで、教室がない日にも運動をしていただけるように動画配信サイトを活用して体操動画の配信も行いました。その結果、運動教室の前で参加者の方々の歩行機能を有意に向上させることができました。
Webサイト	<a href="https://www.city.ikeda.osaka.jp/soshiki/fukushi/tiikishien/kaigoyobou/16653.html">https://www.city.ikeda.osaka.jp/soshiki/fukushi/tiikishien/kaigoyobou/16653.html</a>
写真・チラシ等	
SDG s への取り組み	

25	<b>大阪府教育委員会・高等学校支援教育力充実事業「専門チーム」</b>
連携先	大阪府教育庁
活動期間	2021年度～継続中（年に1～2回）
実績・報告	高等学校支援教育力充実事業の一環として行われているもので、専門家チームの構成員として、府教育庁の要請に応じて、支援教育サポート校、および通級指導実施校からの相談を1～2回受けている。専門家チームの役割は、府立高等学校および支援教育サポート校へ指導助言等であり、府立高等学校に在籍する生徒の障がいによる困難に関する判断や望ましい教育的対応等についての指導助言を行うこととされている。
Webサイト	
写真・チラシ等	
SDG s への取り組み	 

26	<b>堺市 教育委員会外部専門家</b>
連携先	堺市立上神谷支援学校,堺市教育委員会
活動期間	2012年度から継続中
実績・報告	堺市教育委員会の依頼で外部専門家（作業療法士）として、発達障害等により特別な支援を要する幼児児童生徒に関する教員からの指導上の相談を受けている。対象は、堺市立上神谷支援学校、および堺市立幼稚園、小・中学校で、年間10回程度である。現場に訪問して、事前に支援コーディネーターが把握した相談内容（日常生活活動、不器用さ、不適応行動など）について、観察評価などを行い、教員への指導上の提案を行っている。また、2年に1回程度支援学校が地域の教員向けに開催する研修会の講師を担っている。
Webサイト	
写真・チラシ等	
SDG s への取り組み	 

27	<b>大阪市幼児教育センター特別支援教育・保育研修会「自閉スペクトラム症児童の偏食への対応（講師・講演会）」</b>
連携先	大阪市保育・幼児教育センター
活動期間	単発
実績・報告	<p>大阪市保育・幼児教育センターからの依頼で、大阪市内の幼稚園、保育園、認定子ども園などの教員、保育士などを対象とした特別支援教育・保育研修会において、「自閉スペクトラム症児童の偏食への対応」について講義を行った。</p> <p>2022年12月1日（木）（大阪市保育・幼児教育センターにて）、参加者は、約100名。</p> <p>自閉スペクトラム症児では、極端な偏食を示す子どもが多く、感覚面、認知面、環境面の理由とその対応について、研究成果や臨床での経験をもとに講義を行った。同センターでは、過去に2回同じテーマでの講演を実施している。</p>
Webサイト	
写真・チラシ等	
SDG s への取り組み	 